

報告事項について

① 令和 4 年度市電乗車人員の状況について（別紙 1）

- ・ 4 月以降、すべての月で令和 2・3 年度を上回っており、回復傾向が顕著
- ・ 令和元年度（コロナ禍前）比では、1 月までの累計で 76.3%の水準も、外国人入国に係る国の水際措置の見直しがあつて以降の 10 月～1 月までを見ると、R1 比で 80.4%の水準まで回復

※R1 も 2 月以降コロナ禍の影響を受けているため、比較から除外

② 令和 5 年度の交通局の予定事業について（別紙 2）

- ・ 来年度の主な事業として、「多両編成車両の製造及びそれに伴う施設等改修」や「開業 100 周年記念準備」、「新決済システム（顔認証等）導入検討」といった取組を予定
- ・ そのほか、上下分離移行準備に取り掛かるとともに、引き続き軌条更換、電停改良にも取り組む

③ タッチ決済の試験導入の状況と来年度の取組について（別紙 3）

- ・ 利便性向上に向け、7 月以降実証実験中のタッチ決済は、導入している車両が半数以下（16 編成）ということもあり、利用は低水準
- ・ 令和 5 年 4 月中に、全車両への導入及び対応ブランドの拡充を図るとともに、QR コード決済も開始

④ 令和 4 年度 市電に関するアンケート調査の結果について（別紙 4）

- ・ 4,597 人の方から回答をいただいた
- ・ 「利用者満足度」は 63.8%と、目標の 70%には届かなかったものの、昨年度（62.2%）より約 1.6 ポイント上昇
- ・ 「不満度」も 10.4%と、昨年度より 2.0 ポイント改善
- ・ 今回寄せられた意見を参考に、さらなるサービス向上や、安全・安心な運行に取り組んでいく